



全社員受講の必須セミナー 個人情報保護法セミナー（2時間）

1.ねらい

ビジネスを正しい方向に発展させるために活用している各種指針やガイドラインと個人情報保護法との関係を理解し、個人情報保護法が求めている真髓を知り、日々の業務に反映できるようになること

2.ゴール

個人情報保護法とコンプライアンス・CSR・リスクマネジメント・ISOQE・OHSMS・ISMSとの関係を理解し、各種指針やガイドラインが求めるものと、個人情報保護法が求めるものを知り効果的に活用できるようになる。自分たちの身近に感じられる例を用いて個人情報保護法内容を紹介することにより、個人情報保護法の仕組みを理解する。日毎の業務において、個人情報保護法に関係する行為を認知し、法律遵守の行動を取れるようになる。自分たちの身近にある、何気ない意図しない行為が問題に発生することを学び、万一の場合の対応策を学ぶ。

3. 方法

対話型(質問と応答)のセミナーにより、受講者に個人情報保護法のイメージを持たせる。自分たちの周りにある個人情報に関する項目を活用し、どのように対応するかを討議を通じて、イメージ化し、納得性を上げる。

4. 内容

個人情報とコンプライアンス・CSR・リスクマネジメント・ISOQE・OHSMS

ISMSとの関係及びそれぞれの役割

個人情報保護法の施行と企業対応

個人情報保護法における個人情報のライフサイクル

個人情報、個人データ、保有個人データとは？

個人情報保護ガイドライン(主務大臣の告示)

・顧客の個人情報(経済産業省) ・従業員の個人情報(厚生労働省)

本人(個人情報提供者)の求めによる提供停止の仕組み (70分)

最近の問題発生の原因と対策

こういう場合はどうなるの？(個人データを関連会社に提供することは・・・等)

万一の場合はどうするの？(データが入ったフロッピーを落とした・パソコンをなくした・・・等)

(30分)

5. 実習

自分たちの周りで、どのようなものが個人情報保護法に関係するのか？

それにはどのような問題発生危険性があるか？

コンサルタントからのアドバイス

(20分)